

壱岐市
若者の生活と意識に関するアンケート調査
自由記述

令和6年3月

壱岐市

自由記述

NO	性別	年齢	(1) サポート・相談場所
1	男性	20 歳～24 歳	環境を変えるサポートがあれば良いと思います。
2	女性	35 歳～39 歳	本人だけでなく、その家族など周りの人のケアやサポートもあればいいと思う。専門的な知識をもつ人のアドバイスが受けられる機会を得られるよう、行政からの働きかけがされるといいと思う。
3	女性	30 歳～34 歳	気持ちが弱いのかすぐにくよくよ悩んでしまい、そのことが頭から離れなくなってしまう。相談するのも相手からどう思われるか考えると怖い。
4	女性	35 歳～39 歳	基本悩みがあると思うので、まず一つ目は相談できる場所があるということが分かること、二つ目はなかなか自分からコンタクトして改善していくということが難しいと思うので、サポートする方がアクションをとってサポートを継続していくこと、三つ目は大人数だと話したいことは話せないと思うので、少人数で同じ境遇の方の知り合いを見つけて共感しあえる場所をつくること。
5	男性	30 歳～34 歳	本人はもちろんですが、対処に一番困っているのは家族だと思います。家族への支援や、講習会等を開催し、家族からの理解促進、家族からの支援が一番の解決策と考えます。市役所には壱岐市外から来て就職している人達がいると聞いています。そういう地域の人を知らない方に担当してもらい、家族支援の部署を立ち上げてはどうでしょうか？その方が地元の人たちにバレるから相談できないと考えている方達も少しは安心できるかと愚考します。私は他県から壱岐に来て勤務しておりますが、壱岐はとても良い町です。壱岐市の方々ならできると信じております。
6	女性	20 歳～24 歳	もし、相談できる場所があれば、周知を多くしてほしい。知らない人の方が多いと思うから。
7	女性	30 歳～34 歳	相談窓口をもっと分かりやすくしてほしいと思います。そもそも壱岐にそのような場所があるのですか？

NO	性別	年齢	(2) 職場環境
1	女性	35 歳～39 歳	仕事というのはお金をもらうことなので、大変なことだとは思いますが。 だけど、人間関係で悩んで、無理して仕事を続ける必要はないと思います。そのままの自分を受け入れてくれる職場があると思うので、まずは自分を否定しないことが大事かなと思います。
2	女性	25 歳～29 歳	育児休業が職場にないのが大変です。なので、育児休業が欲しいです。

NO	性別	年齢	(3) 地域との関り
1	女性	35 歳～39 歳	壱岐市の場合、個人情報保護が全く機能していないので、好意のないストーカー行為が横行していることを少しでも知ってほしい。
2	男性	35 歳～39 歳	団地や市営住宅に住んでいて、その地区の公民館に入らないと「団地や住宅専用のごみステーションなのに」ゴミは捨てられないと言われて非常に納得できなかった。そういう事は社会生活上絶対に必要なことなので、団地や住宅の入居時など（今からでも良い）きちんと説明してほしい！市として認めるときちんと言っている欲しい！各家庭などあまり関りを持ちたくない人もいるので、このアンケートにもあっているとっています。
3	男性	25 歳～29 歳	離島という事もあり、近所や職場など社会的に距離感が近いので、あらぬ噂話などが絶えない事によっても日常生活を円滑に送ることが出来ない原因となるため、この問題が無くなれば良いなと思う。
4	男性	35 歳～39 歳	人との付き合い以外では住みやすい島だと思う。反面、人との付き合いを重視し過ぎていて、住みにくいとも思う。干渉がひどい。休みの日に地区、消防団等の活動で休みが無くなるので、そのような活動に参加しなくなった。参加が強制みたいな空気がつらい。参加しないことを色々言われているのは分かっている。地域活動が苦で、島を出る若者は少なからずいると思う。
5	女性	35 歳～39 歳	近所のお年寄りとは子どもを通してコミュニケーションを取ったりしています。お年寄りも喜んでくれているように思います。

NO	性別	年齢	(4) 金銭面
1	男性	30 歳～34 歳	物価も高騰してる中で給料が少ないので生活費が厳しい！
2	男性	30 歳～34 歳	とにかく市税などの支払いが多すぎます。給料が良い人は気にならないでしょうが、低い人はカツカツに生活しているので、払えません。そのための支援も少ないですし、児童手当も少なすぎます。これでは子供に回すお金なんてありません。子供を作りたいくても後の事を考えると作れないという人も周りに何人もいます。ここに書いても何も変わらないでしょうが、これが実際の本音です。長々と失礼しました。
3	男性	20 歳～24 歳	生きているだけでお金がかかる。非課税者以外にも支援をしたり、支援に関する情報を発信したりして、地元の人を大切にしたい。若者も生きやすい壱岐にして下さい。
4	女性	30 歳～34 歳	難病ではないですが、血液疾患のため、薬代が高く、もう 8 年になろうとしています。老人は色々支援もありますが、働き手世代にはほとんどなく、体調が悪くても仕事をしなければなりません。もう少し若い病気を持っている人にも支援してほしい。生活保護をもらってなくても困っている人は沢山います。
5	男性	25 歳～29 歳	給料が安い

NO	性別	年齢	(5) その他
1	女性	30 歳～34 歳	私は 6 歳と 3 歳の子供を育てている母親です。子ども健診、通院等にはほぼ私がつれていきます。夫は育児、家事に協力的ですが、健診などに関しては関心が無いのか、全て妻任せなのか結果について自ら聞くことはありません。私が健診に子供を連れて行くと「お母さんの心の状態はどうですか?」「お母さんのための～があります」等の質問や紹介をよくされますが、その言葉にたまに追い詰められます。子どものことについて母親に定期的に質問するのであれば、父親にも同様のことをして欲しいです。親は私だけではありません。妻以外にも子ども関連の機関など第三者から聞かれた方が、夫がさらに関心を持ってくれるのではないかと思います。
2	男性	30 歳～34 歳	支援しようとしてできるものではないと思う。困っている本人が助かろうとするかどうか重要。
3	男性	30 歳～34 歳	ひとり暮らしがしたい。
4	男性	30 歳～34 歳	壱岐自体の社会問題（仕事、人口問題等）を解決していかないと、悩みと問題は良くなって行かないと思う。
5	男性	35 歳～39 歳	興味のある事から広げる、広げていく事が良いと思う。例えばゲームが好きなら、こんなゲームの仕事があるよとか、アニメが好きならこういう学校があるよなど。したくない事はさせない、しないのが一番心を開いてくれると思う。
6	女性	25 歳～29 歳	その人の悩みを聞いて、その人が安心できる居場所を見つける事かと思います。
7	男性	25 歳～29 歳	福岡から約 3 年前に引っ越してきましたが、将来福岡に戻るか分からないと言うと、面接を 3 回 4 回も落とされて、税金、奨学金も払えない日が続く、ある事無い事をうわさもされて、県外の人に対して冷たいイメージがあり、精神的にも正直しんどく、どこに行けば死ぬのか?とか考えたりしてる時もあります。もっと県外の人を大切にしたい。後住宅を増やして欲しい。
8	女性	25 歳～29 歳	両親がおらず、実家を 1 人でみており、また隠居に認知症の祖父がいるが、自分一人だけの収入では今後のための貯蓄もできない状態。島外で働いていた時の貯金もすべて切り崩してしまっている状態で今後の生活の事を考えると壱岐を出て稼ぐべきかと迷っています。パートナーもいますが、壱岐にはおらず又、収入も事情があり少なく、もし子供ができて自分一人の収入でまかなっていかなくてはならないので、今後の事を考えると不安です。
9	女性	18 歳～19 歳	壱岐市も「UberEats」を導入してほしいです。
10	男性	30 歳～34 歳	牛の値が安い為畜産農家がギスギスしている。早くと畜場を開設して、少しでも安く島民に肉が買えるようにし、壱岐に来ればもっと人が来るので、島全体がうるおうと思う。正直言って、今の壱岐に魅力を感じない。給与も安いので生活も苦しい。年金を使うのも申し訳ないと思うが使わざるをえない…。